

高速、高気密のシートシャッターや、上下水道計測、制御監視システムなどの生産、販売を行っている小松電機産業株式会社（松江市乃木福富町、小松昭夫社長）は二十一日、シートシャッターの新製品「門番Gシリーズ」を発表。業界トップの上昇速度や気密性、新しい発想によって実現した汎用性などを武器に、初年度千台の販売を目指す。



新製品の説明を行う小松社長＝21日、松江市乃木福富町、小松電機産業株式会社本社内

# シートシャッター「門番」に新シリーズ

今回発表された「門番Gシリーズ」は、これまで累計十二万台の売り上げを誇る同社の「門番」シリーズの最新シリーズで、シャッターの上昇速度が三桁／秒と従来の「KVシリーズ」と比較して上昇。気密性も向上している。シャッター下端部にはパイプレス構造を採用し、接触時の反転機能や、シートが外れた

場合の自動復帰機構、通過する物の高さに応じて開閉する「ECCOモード」などを搭載することで、省エネ能力やメンテナンスコスト、安全性にも配慮された構造となっている。また、エアシャワーやエアカーテンとの組み合わせも可能で、衛生面での向上も図られており、精密機器製造、食品、薬品、医療、物流、印刷など、幅広い範囲の工場での販売拠点を設け、初年度の需要を見込んでいる。小松社長は「環境と観光をコンセプトに、ここから新しい、価値のある情報と、縁を作っていくたい。将来的にはライバル社とも技術提携し、社会への貢献を図りたい」とし、韓国、ソウルにも

## 松江の小松電機産業

### 上昇速度アップ、気密性も向上

販売拠点を設け、初年度の需要を見込んでいる。小松社長は「環境と観光をコンセプトに、ここから新しい、価値のある情報と、縁を作っていくたい。将来的にはライバル社とも技術提携し、社会への貢献を図りたい」とし、韓国、ソウルにも